

# 平成 28 年度広域的な人財育成事業 実績報告書

## おきたま地域づくり

### ～人と地域をつなぐ事業～

#### 事業概要

|       |  |
|-------|--|
| 趣旨・目的 | <p><b>【趣 旨】</b></p> <p>置賜地域においても、各自治体で課題となっている少子高齢化や人口減少、地域コミュニティの衰退等の地域活力の低下を招く状態が続いている。</p> <p>置賜地域が将来にわたり地域活力を持続・発展させていくためには、置賜地域にある地域資源を活用した地域全体の活性化に取り組むことが必要であり、地域住民一人ひとりの地域へのかかわりが地域活力の向上につながり地域全体に広がっていくことが何よりも大切になってくる。</p> <p>そのため、第5次置賜広域行政事務組合ふるさと市町村圏計画（計画期間平成 25 年度～34 年度）に基づき、広域行政ならではの広域的な枠組みでの人財育成事業を計画期間内において長期的な視点で推進する。</p> <p><b>【目 的】</b></p> <p>本組合の人財育成事業を通じて、地域住民一人ひとりが地域づくり活動の場で活躍し地元地域へ還元することにより、地域課題の解決・地域のブランディング化・交流人口の拡大等につなげる。</p> <p>また、地域づくり活動に関わることで地域に対する愛着と誇りを醸成し、自分たちが住む地域活力を持続・発展させるのは、自分たち次第だという意識を誘発することを目的とする。</p> |
| 概 要   | <p>1 事業内容（継続的推進のための仕組み、事業内容を具体的に記載）</p> <p>本組合の人財育成事業は、平成 28 年度を開始年度として平成 34 年度まで長期的な視線で実施することを予定しており、地域づくりに関わる人財に対する「きっかけづくり」と「精神的なサードプレイスとしての役割」を事業の骨子とする。（事業イメージは図 1 のとおり）</p> <p>開始年度である平成 28 年度の事業内容は、参加した人への地域づくりに対する「気づき」や「きっかけ」を与える場としての役割が主となるため、講義や研修といった「OFF-JT」を中心に事業を進め、最終的には自ら意欲とやる気を持ち自己研鑽に努める「自己啓発」を促すことを目指した事業スキームを構築する。</p>  |

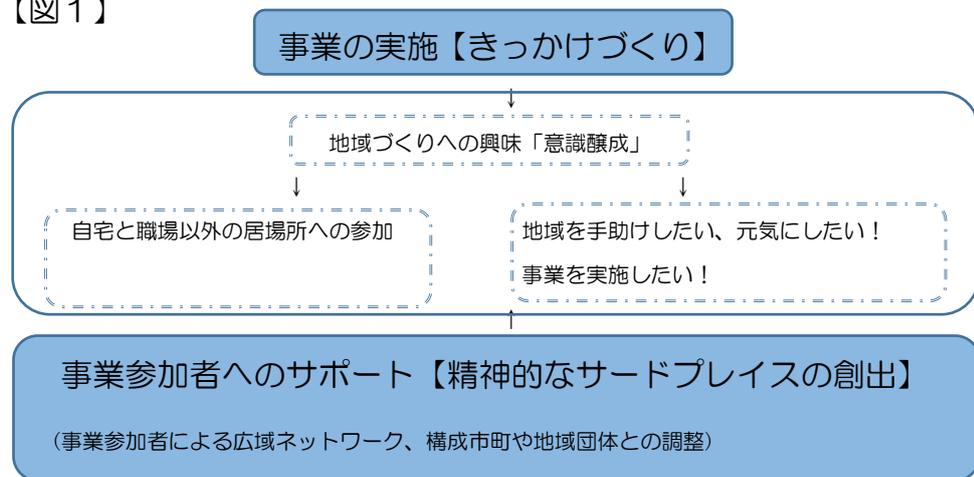
- ①講義で様々な成功事例や地域づくりに関する知識を学ぶ。
- ②地域づくりに関する様々な研修への参加（地域活性化センター主催の研修等）を通じて日本各地の地域や人財との相互交流により見識を深める。
- ③フィールドワークや演習を通じて実体験。
- ④振り返りにより事業に参加しての成果と今後の目標を確認。
- ⑤次年度以降の自発的な活動につなげていくもの。

## 2 事業後の展望

人財育成事業を継続することで、置賜地域内で地域づくりに関わる人々の「精神的なサードプレイス」としての役割を果たしていく。

また、参加者から事業実現のための相談や協力の要請があった際は、行政や地域づくり団体との橋渡しをすることで、事業展開の機会や活躍の場を創出していく。

【図1】



|      | 項目                  | 月日   | 内容   |
|------|---------------------|--|--|
| 実施事業 | 講義Ⅰ                 | 6/19   | 地域をともにつくるチームづくり  |
|      | オープン講座              | 6/19   | しあわせに生き続けられるための人と地域のつながり方  |
|      | 講義Ⅱ                 | 9/17   | 置賜でどのように生きていきたいか   |
|      | 芝の家等視察研修            | 11/2~3   | 芝の家、ご近所ラボ新橋、ご近所イノベータ養成講座の視察研修  |
|      | 講義Ⅲ                 | 2/11~12  | 雪灯かりのつどい<br>この地域に生き続けるために  |
|      | 置賜地域づくり座談会          | 6/18<br>9/16   | 米沢市及び長井市で実施<br>南陽市で実施  |
|      | 地域活性化センター「土日集中セミナー」 | 7/30~31<br>10/1~2<br>11/19~20<br>11/26~27<br>12/17~18<br>1/14~15 | 高校と地域の連携による地域活性化<br>徹底解剖 氷見市地方創生戦略<br>集え！幸せを紡ぐ未来への戦略会議！<br>DMO時代の観光マーケティング実践力強化講座<br>空家の現状と対策<br>やねだん東京塾 |
|      | 受講者自主事業             | 10/17・12/5<br>12/16  | Chiffocafe<br>助産師みえのよろずケア  |

## 講師

坂倉 杏介 氏

[東京都市大学都市生活学部准教授、慶應義塾大学大学院政策、メディア研究科特任講師、三田の家LLP代表など]

多様な主体の相互作用によってつながりと活動を創出する「コミュニティ・プラットフォーム」という視点から、コミュニティの形成過程やワークショップの体験デザインを実践的に研究。

地域コミュニティの拠点「芝の家」や大学地域連携の人材育成事業「ご近所イノベーション学校」の運営などを通じて港区のコミュニティ活性化事業を手がけるほか、地域づくりや企業におけるコミュニティ形成プロジェクトに多く携わる。

## 受講者[第1期]

合計 12 名（男性 3 名、女性 9 名）

米沢市（男性 1 名、女性 5 名）、長井市（女性 1 名）、川西町（男性 2 名）、飯豊町（女性 2 名）、白鷹町（女性 1 名）

## 事業支援

(一財) 地域活性化センター クリエイティブ事業 室 長 前神有里 氏  
副参事 稲田行寛 氏

## 事業内容

### 置賜地域づくり座談会 I

| 項目  | 内容   |
|-----|--|
| 参加者 | ・ 受講者<br>・ 特定非営利活動法人 W i t h 優代表（米沢市）<br>・ 春まちカフェ店主（長井市）、べにばなレジェンド代表（長井市）、黒獅子ガールズ等（長井市）、bookbookokitama 等（長井市） |
| 月 日 | 平成 28 年 6 月 18 日（土）  |
| 場 所 | W i t h 優 [米沢市]、春まちカフェ[長井市]  |
| 目 的 | 講師に置賜を知っていただくため、置賜で地域づくり等に取り組む方を訪問し座談会を開催した。   |

【置賜地域づくり座談会 I の様子】



講義 I 「地域をともにつくるチームづくり」

| 項目  | 内容  |
|-----|---|
| 参加者 | ・受講者 12 名   |
| 月 日 | 平成 28 年 6 月 19 日（日）   |
| 場 所 | 長井市「はぎ苑」  |
| 講 義 | 「地域をともにつくるチームづくり」として、講師のファシリテートにより、ガイダンス、チェックイン、アイスブレイク、ライフストーリーの共有を実施し、1年間共に活動するチーム作りを行った。 |

【講義 I 「地域をともにつくるチームづくり」の様子】



## オープン講座「しあわせに生き続けられるための人と地域のつながり方」

| 項目  | 内容   |
|-----|--|
| 参加者 | ・受講者及び一般参加 26名   |
| 月 日 | 平成28年6月19日(日)  |
| 場 所 | 長井市「置賜生涯学習プラザ」   |
| 講 義 | 「しあわせに生き続けられるための人と地域のつながり方」として、講師のファシリテートにより、ガイダンス、チェックイン、ワールドカフェ形式の対話を実施し、講演とワークショップを行い、ワークショップでは積極的な意見交換が行われた。 |

### 【オープン講座「しあわせに生き続けられるための人と地域のつながり方」】



## 置賜地域づくり座談会Ⅱ

| 項目  | 内容   |
|-----|--|
| 参加者 | ・受講者<br>・ichocafe店主、地域おこし協力隊(南陽市)、HOPE代表(南陽市)、あみゅーず代表(南陽市)南陽市役所職員、Gratitude代表(南陽市) |
| 日 時 | 平成28年9月16日(金)  |
| 場 所 | わくわく icho カフェ、Gratitude[南陽市]   |
| 目 的 | 講師に置賜を知っていただくため、置賜で地域づくり等に取り組む方を訪問し座談会を開催した。                                       |

### 【置賜地域づくり座談会Ⅱの様子】



## 講義Ⅱ「置賜でどのように生きていきたいか」

| 項目  | 内容  |
|-----|---|
| 参加者 | ・受講者  |
| 月 日 | 平成 28 年 9 月 17 日（土）   |
| 場 所 | 米沢市「スタジオ八百万」  |
| 講 義 | 講師のファシリテートにより、午前中は、チェックイン、受講者同士によるインタビュー形式による振り返りや4人1組でのストーリーテリング（①語り手、②インタビュー役、③書記役、④全力での聞き役）を実施し、午後からは、「置賜でどのように生きていきたいか?」、「そのために、この会をどのような集まりにしたいか?」を話し合い、参加者から様々な意見が出された。 |

### 【講義Ⅰ「地域をともにつくるチームづくり」の様子】



## 芝の家等視察研修

| 項目  | 内容   |
|-----|--|
| 参加者 | ・受講者   |
| 日 時 | 平成 28 年 11 月 2 日（水）から 3 日（木）   |
| 場 所 | (1) 芝の家[東京都港区芝 3 丁目 26-10]<br>(2) ご近所ラボ新橋[東京都港区新橋 6 丁目 4-2]<br>(3) 芝コミュニティはうす[東京都港区芝 5 丁目 13-15] |
| 内 容 | (1) 芝の家視察研修<br>対応者：坂倉杏介 氏、加藤亮子 氏、小嶋千津子 氏   |

港区芝地区総合支所の進める「地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト」の拠点である芝の家を視察した。

「地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト」は、子どもたちの成長を地域で見守り、井戸端会議では住民同士の親しい会話がある。そんな昭和30年代にあったような「あたたかい人と人とのつながり」の創生をめざす事業であり、運営は、慶應義塾大学との協働で行われ、大学と地域が連携しながら、コミュニティ再生のアイデアをふくらませている。

こういった話を聞きながら、受講者同士や芝の家に来ていた地元の方と交流し、地域をつなぐ場所を体験することができた。

## (2) ご近所ラボ新橋

対応者：青柳彰一 氏

ご近所ラボ新橋は、港区が芝の家とあわせて運営する、「ご近所イノベーション活動」の実践を応援する実験室で、「地域と、誰かと、わたしのために、ここからはじまるご近所イノベーションをテーマに、身近なところから地域や社会をちょっと良くしていくという場となっている。

運営体制は、港区と慶應義塾大学の協働事業となっており、事務局スタッフと、曜日ごとに駐在する日替わりの「マスター」によって日々のオープンがされている。伺った日は水曜日の「対話ラボ」となっており、対話により社会を良くしようという活動をしている日であったため、受講者とともに参加し、この事業でどういったことをしていきたいか、置賜でどのように活かしていきたいかを話しあうことができた。

## (3) ご近所イノベータ養成講座 活動発表会

講師：前野隆司 氏[慶應義塾大学大学院 SDM研究科委員長、教授]  
山口 覚 氏[津屋崎ブランチLLP代表]

ご近所イノベーションとは、地域にかかわる一人ひとりが「やりたいことをまちにつなげる」ことで実現する新しい地域づくりであり、「自分を生かして、まちを活かす。新しい地域づくりを、港区から。」をテーマに、「ご近所イノベーション学校」として、想いをまちにつなげるさまざまな講座の実施、ご近所イノベーション活動の情報支援、つながりと活動を生み出す場の運営や、学校という名の「新しいかたちの中間支援のプラットフォーム」づくりを通して、多くのご近所イノベーションが起こる地域を目指しおり、港区芝地区総合支所と慶應義塾大学の連携によって実施されている。

ご近所イノベーション学校では、自分の想いと持ち味を地域に活かし、人と人、組織と組織をつなげ、創造的な課題解決を実現する〈人財〉の育成を目的に、大学や地域の資源を活用した各種の講座を実施しており、今回は第4期の活動発表の見学と、基調講演「私を活かしてまちを活かす地域づくりの幸福学[前野隆司 氏]」を受講し、幸せの4つの因子として「自己実現と成長の因子・つながりと感謝の因子・前向きと楽観の因子・独立と自分らしさの因子」について学び、受講者も港区の参加者の方と意見交換を行うことができた。

第4期の方々の発表は受講者の方の参考になり、養成講座の仕組みは、

これからの人と地域をつなぐ事業の進め方の参考になった。

(4) まとめ

当初から計画していた交流・フィールドワークとして、講師である坂倉杏介氏の港区での取り組みを受講者の方と一っしょに体験することで、今までの講義内容を深く理解することができ、受講者の方が新たにこういったことに取組んでみたいという創発にもつながった。

今後、今回の視察研修の振り返りを行い、受講者が取組んでみたいことを事務局としてもサポートし、来年度以降の活動にも繋げていきたい。

【芝の家等視察研修の様子】



### 講義Ⅲ「雪灯かりのつどい」

| 項目  | 内容   |
|-----|--|
| 参加者 | 公募による受講者 12 名  |
| 日時  | 平成 29 年 2 月 11 日（土）から 12 日（日）  |
| 場所  | 米沢市「スタジオ八百万」   |
| 講義  | 人と地域をつなぐ事業として実施した内容、受講者の提案で企画された事業、土日集中セミナーの受講を経て、1 年間の振り返りを行いながら、これからにつながる、講義Ⅲ「雪灯りのつどい」を実施した。 |

【講義Ⅲ「雪灯りのつどい」の様子】



## 地域活性化センター「土日集中セミナー」受講

| 項目  | 内容  |
|-----|---|
| 参加者 | ・受講者  |
| 内容  | <p>公募による受講者が興味のあるセミナーを選択し受講した。</p> <p>(1) 高校と地域の連携による地域活性化～加速化交付金で教育と地域をつなぐ事例に学ぶ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程：平成 28 年 7 月 30 日（土）13 時～18 時 31 日（日）9 時～13 時</li> <li>・場 所：東京八重洲ホール 3 0 1 会議室（東京都中央区日本橋 3-4-13）</li> <li>・受講者：2 名</li> </ul> <p>(2) 徹底解剖 氷見市地方創生戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程：平成 28 年 10 月 1 日（土）13 時～18 時 2 日（日）9 時～13 時</li> <li>・場 所：東京八重洲ホール 3 0 1 会議室（東京都中央区日本橋 3-4-13）</li> <li>・受講者：3 名</li> </ul> <p>(3) 「集え！幸せを紡ぐ未来への戦略会議！」生活困窮者支援とくらしを支え合う仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程：平成 28 年 11 月 19 日（土）13 時～18 時 20 日（日）9 時～13 時</li> <li>・場 所：東京八重洲ホール 3 0 1 会議室（東京都中央区日本橋 3-4-13）</li> <li>・受講者：1 名</li> </ul> <p>(4) DMO時代の観光マーケティング実践力強化講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程：平成 28 年 11 月 26 日（土）13 時～18 時 27 日（日）9 時～13 時</li> <li>・場 所：地域活性化センター会議室（東京都中央区日本橋 2-3-4）</li> <li>・受講者：2 名</li> </ul> <p>(5) 空家の現状と対策—急増する空き家問題への処方箋は？—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程：平成 28 年 12 月 17 日（土）13 時～18 時 18 日（日）9 時～13 時</li> <li>・場 所：東京八重洲ホール 3 0 1 会議室（東京都中央区日本橋 3-4-13）</li> <li>・受講者：1 名</li> </ul> <p>(6) やねだん東京塾～行政に頼らない村おこし～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程：平成 29 年 1 月 14 日（土）13 時～18 時 15 日（日）9 時～13 時</li> <li>・場 所：東京八重洲ホール 3 0 1 会議室（東京都中央区日本橋 3-4-13）</li> <li>・受講者：2 名</li> </ul> |

## 受講者自主事業「chiffocafe」

| 項目  | 内容  |
|-----|---|
| 参加者 | 公募による受講者 12 名   |
| 日時  | 第 1 回：平成 28 年 10 月 17 日（月）<br>第 2 回：平成 28 年 12 月 5 日（月）   |
| 場所  | 米沢市「スタジオ八百萬」  |
| 内容  | 受講者にコーヒーを淹れるのが好きな方がいて、参加者に飲んでもらいながら、コーヒーについて学んでほしいということで、人と地域をつなぐ事業の受講者が自主的に集まり実施した。集まる中で、対話による事業の振り返りなどを行った。 |

### 【受講者自主事業「chiffocafe」の様子】



## 受講者自主事業「助産師みえのよろずケア」

| 項目  | 内容  |
|-----|---|
| 参加者 | 公募による受講者 2 名  |
| 日時  | 平成 28 年 12 月 16 日（金）  |
| 場所  | 米沢市「スタジオ八百萬」  |
| 内容  | 受講者の方が、以前から取組んでみたいと考えていた内容を、人と地域をつなぐ事業に参加し、同じような思いを持った仲間や、「想い」を「形」にしてみようと後押ししてくれる仲間である、若林あい子さん出合い、自主的に企画を実施することとなった。<br>概要：産後ケア（アロママッサージ（手・足・背中等）、骨盤体操など） |

### 【受講者自主事業「助産師みえのよろずケア」の様子】



感想

【女性（米沢市）】

職場と家の往復で毎日が終わっている。やりたい事があるけれど何をどうしていいかわからない。そう感じている時に、この事業が目にとまりました。年に4回程度の講座なら負担も少ないし、この講座に参加して何かヒントが得られるかもと思い、参加しました。年齢も職業も違う仲間と出会い、みんなの話を聞き、刺激を受けました。毎回、講座に参加するたび、パワーを貰って帰ってきました。そこにはワクワクがありました。

私は産後のお母さんたちが笑顔で過ごしていけるような支援をしていきたいと思っています。講座でその話をした時に、「一緒にやろう」という仲間ができ、実際に開催するまでに至りました。自分がやってみたかった事の初めの1歩を踏み出すことができたのです。講座に参加して、「幸せは伝染する」「ゆるふわなつながり」「ワクワクを作る」などを学びました。私はここで人脈や考え方を大きく広げる事ができました。

【男性（米沢市）】

当初のキックオフ講座が終わった後の打ち合わせにスタジオ八百萬を使って頂いたことから、坂倉先生や前神さんをはじめ事務局のみなさんと知り合いました。

その時に「この場所は面白い」と言って頂いたので、この方たちと一緒に何か面白いことが起こるかも？と思い、どんな取り組みをするのかも知らずに参加しました。

その予感当たって、同じ地域で想いを共感したり、誰かの夢の実現を手伝ったりできる大切な仲間ができました。

【女性（飯豊町）】

人と地域をつなぐとは？と考えてみましたが、結果的に、この事業自体が皆のサードプレイスになっているのではないかなと思いました。これをしてみたい！と言うと、否定せず、いいね！と言ってくれる仲間がここには居ます。私のコーヒー好きから始まったコーヒー会。コーヒーがコミュニケーションツールとなり、リラックスした良い空間が出来上がっていると思います。来期では、更にワクワクする事をしていきたいです。

【女性（米沢市）】

地元に戻ってきたからには何か地域とつながることをしたいと思い、チラシを見て応募をしました。初めはこの事業に参加して「何が始まるんだろう」という期待と、不安とでいっぱいでした。6月にメンバーと会い、会場の雰囲気やメンバーの顔触れ、メンバー同士のすでにある繋がりを感じ、正直なところ、一気に不安になりましたが、回を重ねるごとにそれは消え、有意義な時間を過ごすことができました。すべての会に参加できなかったことは残念でしたが、セミナーや集まりを通して新たな発見・気づきがあり、普通に生活していたら出会えなかった方々とも知り合うことができ、美恵さんの思いを形にするお手伝いをする事も出来ました。

様々な取り組みを通し、いろんな方のお話や体験談を聞き、「子供が小さいから」というのを理由に、今まで自分に自分で制御をかけてきていたんだという事がよく分かり、自分の身動きを取れなくしているのは自分自身であったことを痛感しました。「子供が小さいから」ではなく、『子供の成長に合わせて、子供たちと一緒に』もっと自分の生きたいように生きよう、子供たちにカッコイイ生き方を見せようと思いました。

坂倉先生、参加メンバー、事務局の方々、この事業をきっかけに知り合った方々には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからもこのつながりを大事に、そして広げていけたらと思います。本当にありがとうございました！

【男性（川西町）】

私はマッチョなイベント企画を通し、有志で動くことの難しさを感じていました。期限を決め動くとも個々の意識の差が現れます。「その日都合つきません」が蔓延する中、ひとを巻き込むことの限界を感じていました。

つなぐ事業は、都合をつけてでも足を運びたくなりました。コーヒーを淹れる会やよろずケアなど、想いを紡ぐように生まれる行動や、ゆるふわな雰囲気が進められるワークショップを体験し、仲間を応援したい想いがじわ〜っと湧いてきました。

【女性（白鷹町）】

今回参加したきっかけは、1期生募集のチラシを見たときの「地域作りに疲れた人に・・・」のキャッチフレーズに惹かれたことでした。

初顔合わせでは、女性が多いことにも驚きましたが、個々の地域づくりへの志の高さが伝わり、自分がここにいて良いのかと不安だったのを覚えています。

それでも、皆さんと話をしていくうちに、この事業独特の「ゆるふわ」な感じがとても居心地がよくて、新しい地域づくりへ取り組む形が見えた気がしました。

「私が今後、どのような形で地域に関わって行きたいのか。」まだきちんと説明出来るほど形にはなっていませんが、この事業で得た感覚を現在参加している活動にも活かしていきたいと思いました。

## 総括

### 1 坂倉 杏介 氏 (講師)

#### 感想

この事業では、私自身とても学びがありました。

みなさんに教えてもらったのは、地域はこうあるべきである、こうなったらもっと評価されるという形にはめるのではなく、「この地域でどのように生きていきたいのか」を一人一人がじっくりと考えることが地域づくりの第一歩であること。それを実現するために、行政に何かしてほしいと要望するのではなく、まず自分たちが「こうやって生きたい」というライフスタイルを実践して、それを通じて、地域を自分たちの人生の舞台としてふさわしい形に整えていく活動こそが地域づくりだということ。それを忘れがちだな、と改めて感じた1年でした。最近、他のところでも、地域づくりを語る時はこのことを話しています。組織的な取り組みや行政の役割など、カチッと進めていく仕事も必要ですが、それだけではなくて、生活する人、人生を営む一人一人の「私」という立場から地域に関わっていくことが大切です。

今回の講座で共有された「ゆるふわ」という言葉ですが、これはカチッとしていることの対義語ではなく、単にルーズだということでもありません。ゆるいということは、いろいろなものが許され、包摂できる寛容性があるということです。ふわっとしているということは、あらかじめ見えていることを目標にするのではないからこそ、ふわっとして見える。でも、だからこそ表面的に進めてしまうのではなく、まだ無いもの、言葉になっていないものを探索的にみんなで考えていくことで、形にしていける可能性があります。ふわっとしていることは、より本質的な議論のために不可欠なのだと思います。

ゆるくてふわっとした時間があるから、本質的なことを確かめ、それに向き合う勇気も湧いてきます。これが一番大事なことで、これからの社会に求められているのではないかと感じています。参加者の皆さんの持っているエネルギーの大きさと多様性に、わくわくしています。それが繋がり、思いもかけないものを生み出していけるよう、これからもチャレンジを続けていきたいと思います。

### 2 前神 有里 氏 (事業支援)

#### 感想

東北は我慢するところというイメージでいたけれど、置賜はそうではありませんでした。山形でも置賜は面白いと思って、1年間置賜で広域連携事業を支援したあとに、新しく面白い事業を始めると言われたのがこの「人と地域をつなぐ事業」でした。

実際にふたを開けてみると、受講者は女性が多く、はじめて会う人ばかりなのに、緊張しないという不思議な「場」ができていました。

課題解決型の地域づくりや行政にずっと違和感があり、異質なものと異質なものが掛け合わさって新しい価値を生むような課題解決が好きでした。人と地域をつなぐ事業では、地域の課題を話すことはなく、今日のような雰囲気です話をすることが、とても良かったです。

この事業では、ゆるやかにと言っていますが、これを公式な行政の事業で、7年やるというのがすごいところだと思っています。

地域おこしでは、自分の地域の良いところばかり言うと、広がりがなく疲れてしまうので、このような形で続けていってほしいと思います。

## おわりに

本組合では、ふるさと市町村圏計画の広域活動計画に基づき、広域的人材の育成活用事業として、平成 28 年度から新たに、地域づくりに対する「気づき」や「きっかけ」を与える場として、「おきたま地域づくり～人と地域をつなぐ事業～」を実施しました。

坂倉杏介氏の講義、受講者同士のつながり、芝の家等を視察した際の港区の方との交流などを実施することで、地域づくりに対する「気づき」や「きっかけ」だけでなく、初年度から受講者の自発的な取組みに繋がったことは大きな成果となりました。

これからも、平成 34 年度まで、引き続き事業を実施するなかで、「気づき」や「きっかけ」を与える場であるとともに、受講者と一っしょに、試行錯誤しながら置賜地域で生き生きと暮らしていくための方法を考えていく事業としていきたいと思っています。

最後に、受講していただいた第 1 期生のみなさま、快く講師を引き受けていただいた坂倉杏介氏、事業の支援をいただいた（一財）地域活性化センターの前神有里氏、稲田行寛氏、オープン講座にご参加されたみなさま、座談会にご参加いただいたみなさまに、深く感謝申し上げます、報告書の結びとします。